

社会福祉法人 いわせ長寿会 令和5年度 事業報告

令和5年度につきましては、新型コロナの感染症法上の位置づけが5類に移行され、世間的には徐々にコロナ禍が終息しつつあるという認識が増えた年でありました。当法人が関わる利用者の方々は、高齢で基礎疾患をお持ちになっている方々のため、法律上の扱いが変わったとはいえ、新型コロナによる重症化のリスクは変わらず、引き続き感染予防のため役職員一丸となって取り組みました。そのような中でも「共に生き、わかちあえる毎日」の運営理念実現のため、出来る事は何かを模索した一年でもありました。

稼働率については、例年通り各事業所、ユニットそれぞれ事業計画に基づき「財務・顧客・業務・人材」の4つの視点で目標設定し事業を展開いたしました。

以下項目別に詳細を報告いたします。

1-1. 評議員会

令和5年度において評議員会3回を下記のとおり実施し、いずれも原案の通り可決承認されました。

開催期日	出席人員	協議事項	内容
R5.4.25 臨時評議員会	評議員5名 監事1名 理事2名	1. 事業譲渡契約締結について	1は、株式会社益荘からの事業譲渡を承認するもの。 原案通り可決承認するもの。
R5.6.16 定時評議員会	評議員5名 監事1名 理事2名	1. 令和4年度事業並びに決算の認定について監事監査報告 2. 役員の選任について	1は、令和4年度事業並びに決算の認定について監事監査報告を承認するもの。 2は、令和5年定時評議委員会の終結の時～令和7年定時評議委員会の終結の時までの理事及び監事選任するもの。 いずれも原案通り可決承認するもの。
R6.1.12 臨時評議員会	評議員6名 監事1名 理事2名	1. 事業譲渡契約締結について 2. いわせ長寿会定款の一部改定について	1は、ニューワーク情報サービス及び社会福祉法人うつみね福社会からの事業譲渡を承認するもの。 2は、いわせ長寿会定款の一部変更を承認するもの。 いずれも原案通り可決承認するもの。

1-2. 理事会

令和5年度において理事会4回を下記のとおり実施し、いずれも原案の通り可決承認されました。

開催期日	出席人員	協議事項	内容
R5.4.12 臨時理事会	理事6名	1. 事業譲渡契約について	1は、株式会社益荘から事業譲渡を承認するもの。 原案通り可決承認するもの。
R5.5.24 定例理事会	理事5名 監事1名	1. 令和4年度事業並びに決算の認定について監事監査報告	1は、令和4年度事業並びに決算の認定について承認するもの。

		<p>2. いわせ長寿会諸規程の新設及び一部改定について</p> <p>3. 定時評議員会の招集について</p> <p>4. 役員の選任について</p> <p>5. 評議員選任・解任委員会委員の解任について</p> <p>6. 評議員選任・解任委員会委員の選任について</p> <p>他、報告1件</p>	<p>2は、いわせ長寿会諸規程の新設及び一部改定を承認するもの。</p> <p>3は定時評議員会の招集を承認するもの。</p> <p>4は、役員の選任について承認するもの。</p> <p>5は、評議員選任・解任委員会委員の解任について。</p> <p>6は、評議員選任・解任委員会委員の選任について承認するもの。</p> <p>いずれも原案通り可決承認するもの。</p>
R5.6.16 定例理事会	理事6名 監事2名	1. 理事長の選定について	<p>1は、理事長の選定について承認するもの。</p> <p>原案通り可決承認するもの。</p>
R5.12.22 定例理事会	理事6名 監事1名	<p>1. 令和5年度最終補正予算(案)について</p> <p>2. 事業譲渡契約締結について</p> <p>3. いわせ長寿会定款の一部改定について</p> <p>4. いわせ長寿会諸規定の一部改定について</p> <p>5. 評議員会臨時会の招集について</p> <p>6. 理事長の利益相反取引の承認について</p> <p>7. 他、報告1件</p>	<p>1は、補正予算の承認するもの。</p> <p>2は、ニューワーク情報サービス有限会社及び社会福祉法人うつみね福祉会からの事業譲渡を承認するもの。</p> <p>3は、いわせ長寿会定款の一部改定について承認するもの</p> <p>4はいわせ長寿会諸規定の一部改定について承認するもの</p> <p>5は、評議員会臨時会の招集を承認するもの。</p> <p>6は、理事長の利益相反取引について承認するもの。</p> <p>いずれも原案通り可決承認された。</p>

令和5年度 事業所別事業計画

事業所名

特別養護老人ホーム いわせ長寿苑

1. 目標

(1) ユニット、職員一人一人が個性を発揮し躍動できる職場環境作り。

(2) サービスの質の向上に向けて数値的根拠と業務との整合性を図り新しい長寿苑をプランディングする

2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	売上げの維持	・待機者アプローチ ・居宅、病院、老健への営業活動	新規入居者 平均要介護度 4.1以上	通期介護度 4.1 → 100%
	②	ユニット間で協力体制を構築し業務の効率化を図る	全ユニット総残業時間前年度以下	職員定着率 100%/年	4月以降入社 職員退職1名 達成率 93%
顧客	①	看取りケアの充実	・入居時、定期的に家族へ終末期への意識づけ ・看取り加算維持	看取り加算取得 50%以上	12/24人 50%取得 → 100%
	②	その人らしい暮らしの継続	利用者の ADL 維持	バーセルインデックス評価点数低下各ユニット 2 名以下 (6 か月/1 回)	2 名以上低下 2 ユニット 達成率 78%
業務	①	家族とのつながりの継続	・家族との情報共有 ・柔軟な面会	直接面会率 60%以上	51% 達成率 85%
	②	施設内集団感染を防ぐ	・感染症と思われる症状があった場合には、早急に医師に指示を仰ぎ、ユニット職員と相談しながら、隔離等の対応を取る	・同症状を呈する利用者が2ユニットで3名以内。 ※半期ごとの評価	上期 100% 下期 0% 通期 50%
人材	①	柔軟な対応が出来る人材育成	利用者急変時、他職種と連携して迅速に対応できる	確認テスト実施。介護職員平均 80 点以上。 上期：1 回 下期：1 回	勉強会の開催のみ 上期 50% 下期 50% 通期 50%
	②	職員のスキルアップ	意見交換会を行い職員の気づきを増やす。	各ユニット 1 回以上/年。 連携法人 2 法人以上	6.7.9.12 月意見交換会実施。6.8 月合同研修会。連携法人は増やせず 80%

令和5年度 事業所別事業計画

事業所名	ショートステイいわせ長寿苑
------	---------------

1. 目標

(1) 在宅での生活を継続し、可能な限り自立できる個別ケアの実践を行う。
(2) 施設生活を充実させることにより、地域から選ばれる事業所になる。

2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	個別ケアの実施	利用者・家族の要望に沿ったケアを行い、繰り返し利用してもらえる。	平均利用日数 前年比110%	令和5年度 上期 95% 下期 110% 通期 103%
	顧客	①	充実した生活を送る	新たなレクリエーションを提案・実施し、充実させて、楽しく過ごしてもらう。	職員と一緒に 行えるレクリエーション実施 1回/週
		②	フロア環境整備	使い勝手を考えたフロア環境に整備し、レク材が自由に使え、意欲を高める。	意欲的にレク材を手に取り実施できる方 10名以上(上期5名)
業務	①	在宅での生活継続	居室の環境を自宅と同様に整え、安心して過ごしてもらえる。	居室環境の写真の更新100% 写真通りの環境作り100%	写真の更新→100% 環境作り→100%
	②	荷物返し忘れを無くす	忘れ物をゼロにし、利用者や家族への負担をかける事はもちろん、職員の負担軽減にもつなげる。	前年度の負担時間より軽減 時間数の% (600-忘れ物件数×30)/600	今年度9件 上期 70% 下期 85% 通期 78%
人材	①	働きやすい環境作り	仕事をしていて日ごろ感じている疑問や解決したいことを気付きシートに記入し、解決策を見つける。	気付きシートの解決策実施率	下期 60% 通期 60%
	②	職員のスキルアップ	意見交換会実施	1回以上/半年	下期 50% 通期→50%

令和5年度 事業所別事業計画

事業所名	デイサービスいわせ長寿苑
------	--------------

1. 目標

<p>(1) 利用者が地域から必要とされる存在のデイサービスを目指す。</p> <p>(2) 法人内の他部門と連携し業務の効率化を図り利用者一人一人のニーズに応える。</p>

2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	利用者数の安定	居宅へ空き状況や取り組み発信（生活相談員）	月別実人数 52人/年平均	上半期 44.1人 / 達成率 84.8% 下半期 47.4人 / 達成率 91% 全期 45.6人 達成率 87.6%
	②	サービスの質と利用者満足度の向上	個別化と集団レク等の見直しと情報発信	家族へ情報発信（実人数分） 81.5%/年平均	上半期稼働率 60.9% / 達成率 74.7% 下半期 70.1% / 達成率 86% 全期 65.1% / 達成率 79.8%
顧客	①	利用者と共に食事づくりの継続と他店検討	食事を楽しみ意欲・認知機能の改善	業者と打ち合わせ（メニュー考案）/毎月2回	上期 100% 下期 100% 全期 100%
	②	訪問介護・看護との情報共有	利用者の自立支援・ニーズの収集	他取引居宅増加 2事業所/年	前年度 15件 今年度 16.6件 → 1.66件増加 全期達成率 83%
業務	①	他事業所デイと情報共有	レク内容や業務効率の向上のための意見交換	上半期 1回 下半期 1回	上期 100% 下期 0% 全期 50%
	②	職員のスキルアップ	オンライン研修へ参加し、知識・技術の向上を図る。	1人あたり2回/年(上期1回、下期1回)	上期 17% 下期 42% 全期 30%
人材	①				

令和5年度 事業所別事業計画

事業所名

いわせ長寿苑居宅介護支援事業所

1. 目標

- (1) 感染対策を継続しながらの訪問や ICT を活用し業務効率をあげ、実績プラン数を維持していく
- (2) 在宅での生活を支えるために幅広い知識の習得で相談業務の質を向上させる

2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	実稼働件数 (最大 90 件到達)	① 一人当たり実績件数 15～35 件を維持	事業所実績平均数 33 件	31.1 人 (94.2%)
	②	業務効率化	プラン AI 機能の活用とクラウドによる訪問時入力を徹底し帰苑後の入力時間を軽減する	対前年残業 - 30%削減 (平均 6 時間)	月平均 4 時間 100%
顧客	①	利用者、家族、介護サービス事業所間との連携強化	上期でアンケートを実施し下期アンケート回答内容について改善と対応の統一化 することでマネジメントの見える化を図る	アンケート結果満足度 85%と回答に対する改善策とマニュアル作成	満足度 97.2% (100%)
	②	新規の介護サービス事業所を増やす	新規の介護サービス事業所との情報交換で利用者への選択幅を拡げる	新規事業所 3 件増	池田通りハッピー福島ケアヘルス 3 件利用開始 (100%)
業務	①	ICT による業務の効率	ケアプランデータ連携システムにより業務の効率で利用者家族の相談や新規受け入れ、職員の休暇等有効に活用	新規件数前年比 20%増 (目安 24 件)	新規 34 件 (100%)
	②	集中減算を踏まえた中立公正な事業所選択	集中減算の要件を確認しながら事業所選択	自法人利用率 70%	5 事業所平均 48.88% (69.7%) 達成
人材	①	相談業務質向上	在宅での生活を支えるための幅広い視点の知識習得の為積極的な研修参加を行う	各個人習熟度 1 アップ	習熟度 1 アップ 100%

令和5年度 事業所別事業計画

事業所名

訪問介護いわせ長寿苑

1. 目標

- (1) 当事業所の特性を活かし、効率的な運営と新規開拓を目指す。
 (2) 職員一人一人が技術・知識・意識の向上に努め、選ばれるヘルパーになる。

2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	安定したサービスの維持	平均単価の維持・向上	平均身体割合 78%以上/年	通期 84.1% 100%達成
	②	継続した新規利用者の維持	新規地域からの利用者獲得 を行う事で地域拡大と実 人数の安定を図る	実人数28人	通期 25.5名 91%未達成
顧客	①	生活援助技術の向上	調理技術と利用者満足度 の向上 業務の統一・継承	調理支援利用 者ごとのレシ ピ本作成 1冊/年	対象利用者1名1冊 完成 100%達成
	②	在宅生活の維持・ 継続	ADL 評価更新・サービス内 容との照合	サービス内容変 更・追加の提案 10名/年	支援内容提案 18名/ 年 ADL 更新 20名/年 100%達成
業務	①	業務の均衡化 意識の向上	担当制導入・PC技術の向上 個人書類更新 12名/半年	情意考課の点 数昨年度より 向上	全職員向上 100%達成
	②	効率的なスケジ ュール作成	訪問ルート スケジュールのパター ン化	訪問件数 1人5件以上/日	通期 3.95件 79%未達成
人材	①	サービスの質の向 上	担当制による勉強会実施 (月刊誌の活用)し苦情0 を目指す。	利用者アンケ ート満足度 8 0%	満足度 92.3% 100%達成
	②	知識の習得 スキルアップ	内・外部研修(オンライン 含) 1人2回/年	ランク又は習熟 度の向上	全職員向上 100%達成

令和5年度 事業所別事業計画

事業所名

訪問看護いわせ長寿苑

1. 目標

- (1) 業務の効率化を図り、質の高い訪問看護の提供し、選ばれる訪問看護を目指す。
 (2) 暮らしに密着した看護・リハビリテーションを提供する。

2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	利用者（実人数）の定着	・新規利用者獲得 ・居宅や病院との連携を図り顧客獲得を図る	50人/月平均	48.3人/月平均 (96.6%)
	②	医療ニーズの高い利用者の受け入れ	・在宅看取りの実施 ・医療保険やI-3訪問利用者の獲得	I-3訪問45件/月	37.2件 (82.7%)
顧客	①	安全な看護サービスの提供	・訪問看護手順マニュアルの作成と見直し ・災害時の対応確認 ・感染対策の徹底	・利用者・職員間での感染0件 ・事故0件	0件 (100%)
業務	①	業務の効率化	・スケジュール・訪問ルートの見直し ・記録時間の確保	1日平均（均件数）14件以上	12.1人 (86.4%)
	②	看護の質の評価	・看護実践の振り返り（デスカンファも含む） ・カンファレンスシートの作成	ターミナル加算15件/年	9件 (60%)
人材	①	知識・看護技術の向上	・研修への参加（3回/年以上） ・最新知識・技術の習得	習熟度I以上UP	全員達成 (100%)

令和5年度 事業所別事業計画

事業所名	デイサービスはねっくら
------	-------------

1. 目標

(1) 年度末迄に収支均衡を図る
(2) 利用者満足度を上げるための業務プログラムの変更と実施

2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	目標項目	目標値	結果/達成率
財務	①	利用者数の増加	顧客数を増やすための変化を外部に伝える	月別実人数 85人/年平均	76.5人/月平均 (90%)
	②	加算取得の為にオペレーション見直し	全てのオペレーションを見直すことで効率を上げて生産性を上げる	年度末収支均衡	23,882,211円(実績) /24,882,581円 (目標) (96%)
顧客	①	サービスの質と利用者満足度の向上	業務内容変更におけるアンケートによる効果測定	アンケートによる満足度測定結果 平均以上	アンケート平均 97/100点 回収率75%
	②	運動効果の向上	介護予防・事業対象者における運動機能数値の向上	開始前からの改善者8割 (3~6ヶ月経過)	書式改定(グラフ化)し変化の把握をしやすいとする。 改善者8割は未達
業務	①	業務均等化	全員が同じことが出来る業務変更の実施	業務均等化 エンゲージメント測定結果 平均以上	役割分担を明確化し職員の自律を促す 測定は未実施
	②	情報共有	情報のタイムラグや漏れなく共有できる方法の確立	共有ツールの使用	ほのぼの掲示板を利用し情報の共有化及び迅速化を図った
人材	①	法人理解と個人スキルの向上	法人の理解を深める共に研修機会の提供により個人スキルの向上を図る	職能ランクの把握と課題整理	オンライン認知症研修及びアンガーマネジメント研修等へ参加
	②	研修参加	出来る限り研修機会の提供により意識と能力をあげる	習熟ランクアップ	研修会への参加は行ったが、習熟ランク未達

3 働きやすい職場環境作り

3-1 職員推移（施設長除く）

	男	女	合計
前年度末	23	65	88
入職者	8	18	29
退職者（3/31 付け含む）	4（3）	10（1）	14（4）
令和5年度末（3/31 現在）	30	76	106

3-2 事業所別職員数

	事業所名	人数
拠点いわせ長寿苑	特別養護老人ホームいわせ長寿苑	68
	ショートステイいわせ長寿苑	5
	デイサービスいわせ長寿苑	8
	いわせ長寿苑訪問介護	4
	いわせ長寿苑訪問看護	5
	いわせ長寿苑居宅介護支援事業所	4
	小計	95
拠点天栄	デイサービスはねっくら	12
	小計	12
	合計	106

3-3 資格別職員数

	拠点いわせ長寿苑	拠点天栄	合計
看護師	7	0	7
准看護師	2	1	3
作業療法士	2	0	0
言語聴覚士	1	1	3
介護福祉士	59	4	63
介護職員実務者研修	5	0	5
介護職員初任者研修	7	0	7
ヘルパー2級	3	1	4
社会福祉士	1	0	1
介護支援専門員	8	0	8
社会福祉主事	9	4	13
管理栄養士	2	0	2

職員の技術力向上及び知識力向上を目的に、より利用者へ「安心・安全」に生活していただくため実施し、令和5年度は職員が密集する事を避け配信により実施し取り組みました。

3-4 施設内研修

研修名	概要	実施月	参加率
ハラスメント研修	みんなの職場応援団（厚労省）HP 管理者	5月	100%
ハラスメント研修	みんなの職場応援団（厚労省）HP 一般職員	5月	98%
認知症ケア研修	認知症及び認知症ケアに関する研修	6月	88%
プライバシー保護研修	プライバシー保護の取り組みに関する研修	6月	88%
倫理及び法令順守研修	倫理及び法令順守に関する研修	7月	83%
事故防止研修	事故発生又は再発防止に関する研修	7月	83%
緊急時対応研修	緊急時の対応に関する研修	8月	83%
感染症・食中毒予防研修	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	8月	83%
身体拘束研修	身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修	10月	78%
災害時対応研修	非常災害時の対応に関する研修	10月	78%
医療に関する研修	医療に関する教育・研修	11月	77%
ターミナル研修	ターミナルケアに関する研修	11月	77%
精神的ケアに関する研修	精神的ケアに関する研修	12月	60%

*オンライン研修を取り入れながら、感染防止を図りつつ実施いたしました

3-5 施設内 外部講師研修

新型コロナウイルス感染防止の為に未実施

3-6 施設外研修

主催団体等	研修名	参加数	内訳
アボットジャパン	口から食べてもらう食事介助のテクニック	10名	配信
介護労働安定センター	「看取り」介護（生活）の中で行う看取り支援の良さ	5名	配信
社会福祉法人うつみね福祉会	嚥下障害・看取りについて	18名	オンライン
須賀川介護支援専門員	役員研修・認知症の人のアセスメント	3名	集合
日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	3名	オンライン
福祉医療機構	社会福祉法人会計実務セミナー	2名	配信

福島県運営適正化委員会	苦情受付担当者研修	1名	集合
福島県福祉サービス振興会	介護場面におけるリスクマネジメント	1名	集合
福島ユニットケア協議会	ユニットケア新任職員対象研修	2名	配信
矢吹町居宅介護支援協会	若年性認知症講演	1名	集合
矢吹町社会福祉協議会	アンガーマネジメント講演	1名	集合
全国老人福祉施設協議会	BI評価・身体拘束について	14名	配信
福島県	認知症基礎・実践者・安全運転	9名	集合 配信
福島県看護協会	精神科訪問・認知症について	2名	配信
福島県社会福祉協議会	介護職員の専門性向上について	4名	集合 配信
須賀川市	介護保険制度改正について	9名	集合 配信
須賀川市	ユニ・チャームおむつ研修会	26名	集合

4 健康管理

入居者の健康管理は、嘱託医や協力医療機関との連携に努めながら「早期発見・早期対応」に努め、近年増加傾向にある終末期における医療の在り方等も嘱託医や家族との話し合いのもとに進めました。

4-1 嘱託医師及び協力医療機関

嘱託医師	阿部内科医院（阿部裕光医師 内科医） 毎週木曜日
協力医療機関	公立岩瀬病院 森宿歯科医院（口腔指導年6回）

4-2 入院状況等

1. 入院実数	15人
2. 死亡者数	26人（看取り12人）
3. 救急車要請	8件

5 苦情及びご意見等

苦情件数（全事業含）	10件（接遇6件・利用者対応2件）
ご意見箱投書	17件（制度質問1件、要望2件、感謝8件、白紙・意見なし6件）

6. 面会者実績

コロナ感染症の5類移行をうけて、近隣の感染状況を見守りつつ人の動きが落ち着くゴールデンウィーク明けまではテレビ電話で行い、その後は面会スペースによる対面の面会へ切り替えました。看取り期の利用者については従来通り居室での直接面会対応とし、遠方のご家族へはラインビデオ通話での面会も継続して対応させて頂きました。

年 度	総回数	ライン面会
令和5年度	884回	31回

7. 災害に強い施設作り

各地で地震が相次ぐ中、より実効性のあるBCP計画にするため、計画と備蓄倉庫品の整合性を確認するなど行いました。また消防署立ち会いの下、総合避難訓練を行い発災時の対応を実際に即して行うなどし指導いただきました。

8. 公益的な取組内容

社会福祉法の改正等により社会福祉法人の責務として地域における公益的取組の実施が求められました。いわせ長寿会としても引き続き「施設の廊下を地域の方々の玄関につなぐ」をモットーに取組に努めました。

今年度より岩瀬福祉会及び社会福祉協議会と協働し地域ボランティアの力を借り「買い物支援事業いってみっカー」を開催。岩瀬地域の買い物困難者への取り組みを行っております

内 容	開催時期	開催場所
施設内展示入替	通期	長寿苑玄関前ホール他
買い物支援事業	令和6年1月～	ベニマル西川、アスク他

9. 主な行事の実施状況（家族会と共催）

開催時期	事業内容	内 訳	主催
令和5年4月16日	観桜会	観桜会として、花見膳、ケーキを提供し食する	家族会
令和4年9月18日	敬老会	記念品を贈り、敬老をお祝いする お祝い該当者：18名	家族会 共催
令和5年10月22日	感謝祭	コロナ感染予防として、人数を絞りながらもご家族参加の感謝祭を苑内で実施。	家族会 共催
通年	誕生祝い	利用者様全員へ誕生日のお祝いに記念品を贈る。1人上限1,500円	家族会
毎月	各ユニット行事	ユニットごとにドライブや花見、おやつ作りや豆まきなど季節ごとの行事を実施、	主催